
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 8月8日～8月14日

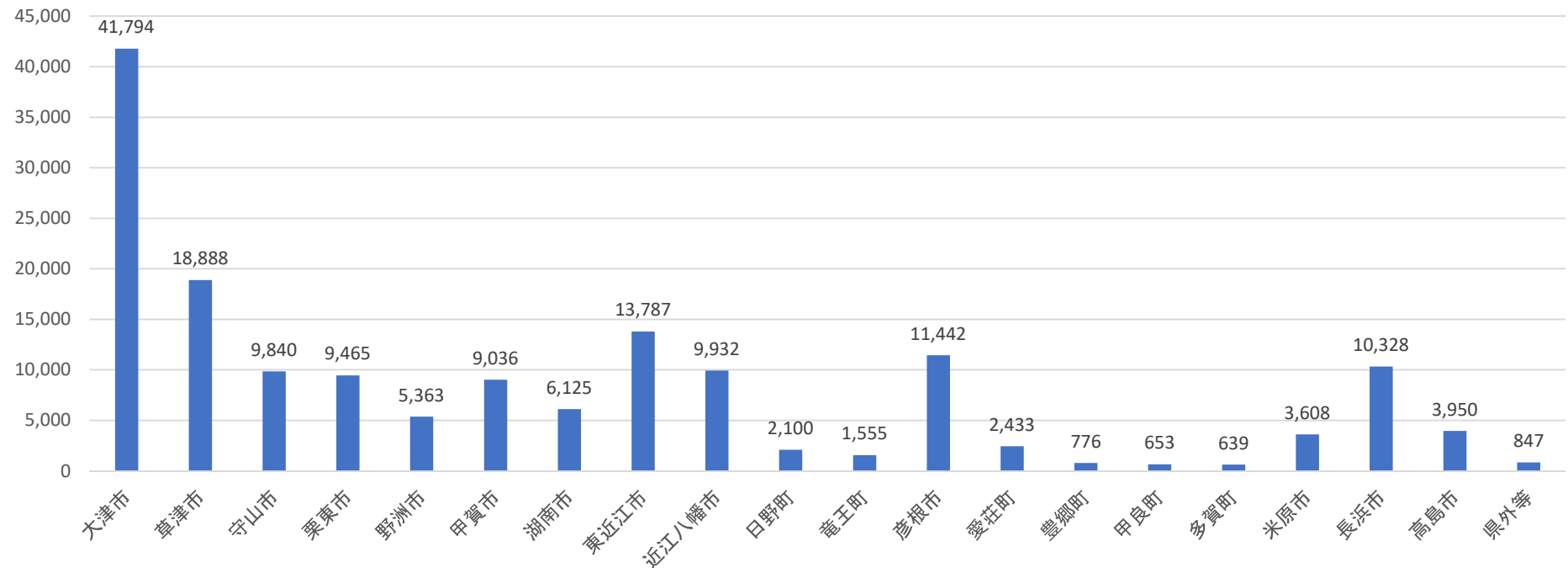
8月16日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

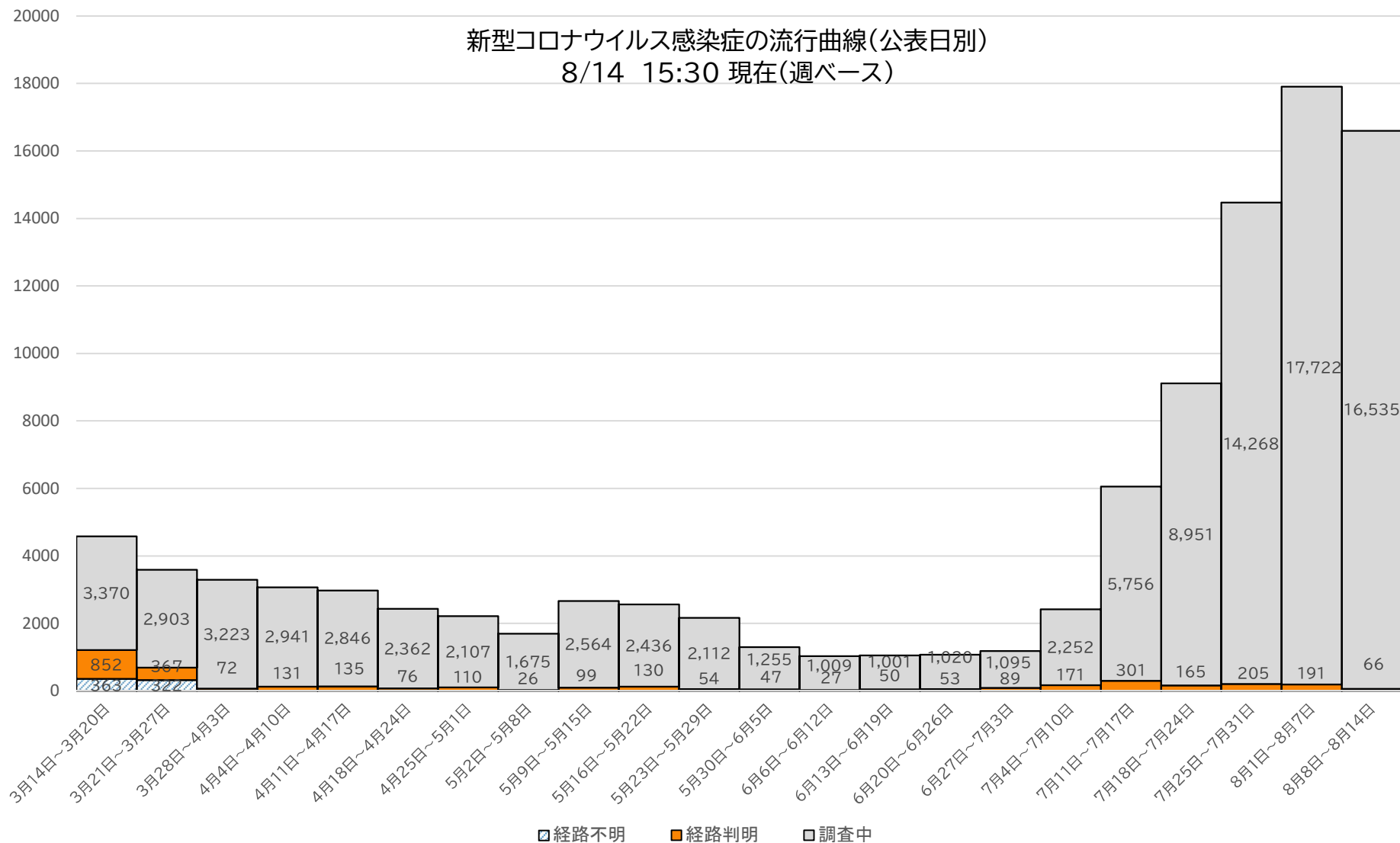
	新規感染者数
今週の報告数(8/8~8/14)	16,601人
累計(8/14時点)	162,561人

2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

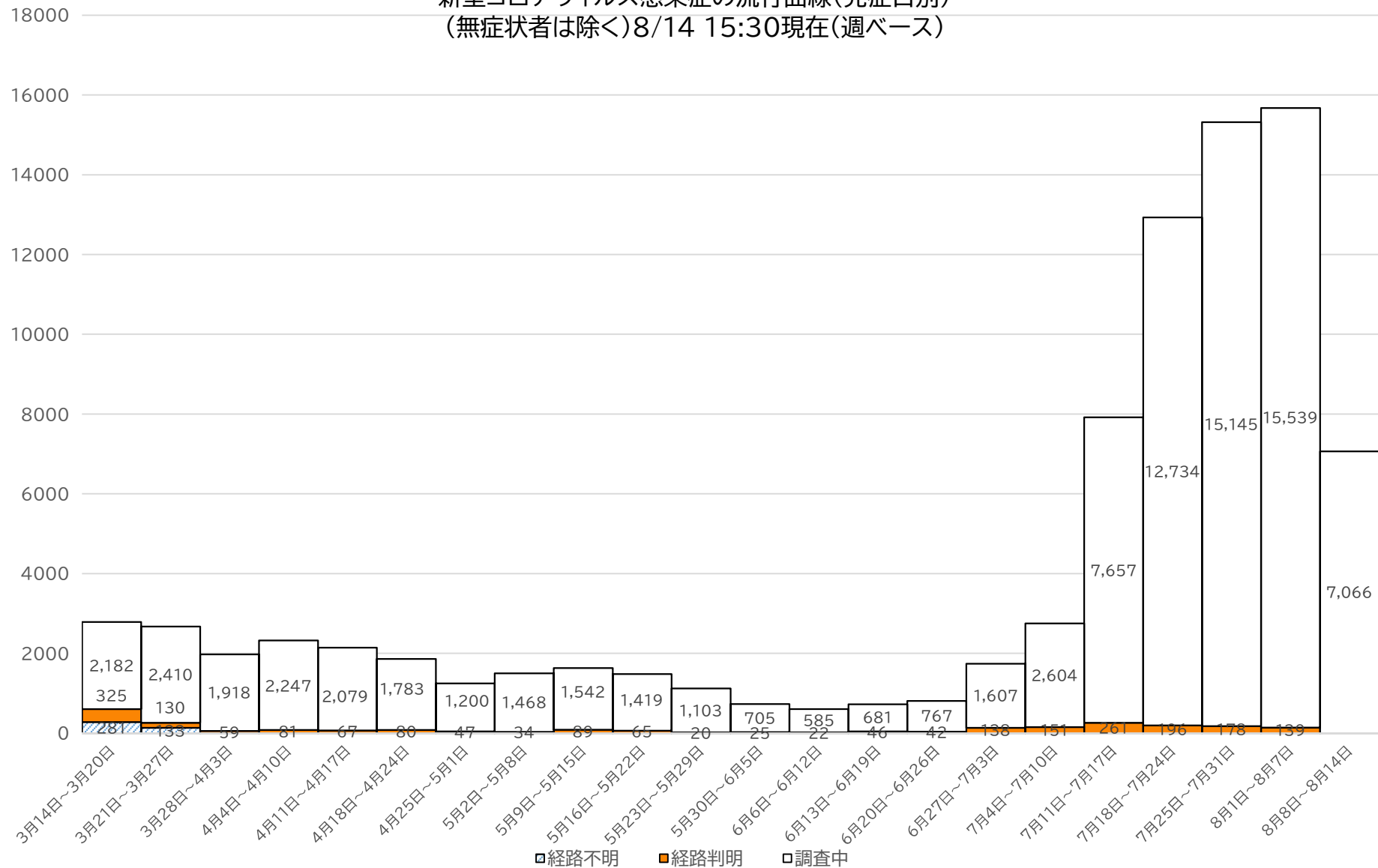
① 流行曲線(公表日別)(8月14日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(8月14日現在)

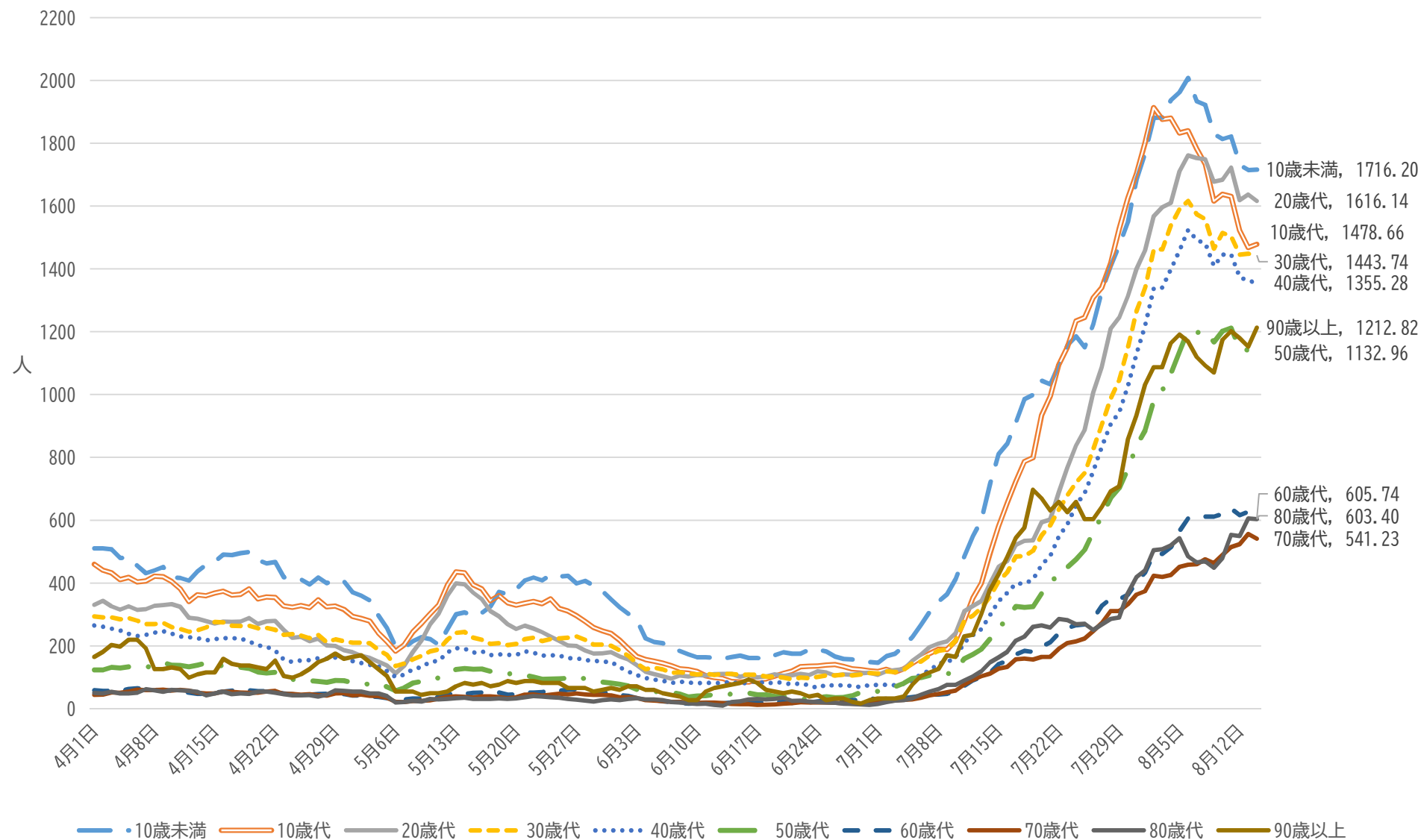
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)8/14 15:30現在(週ベース)



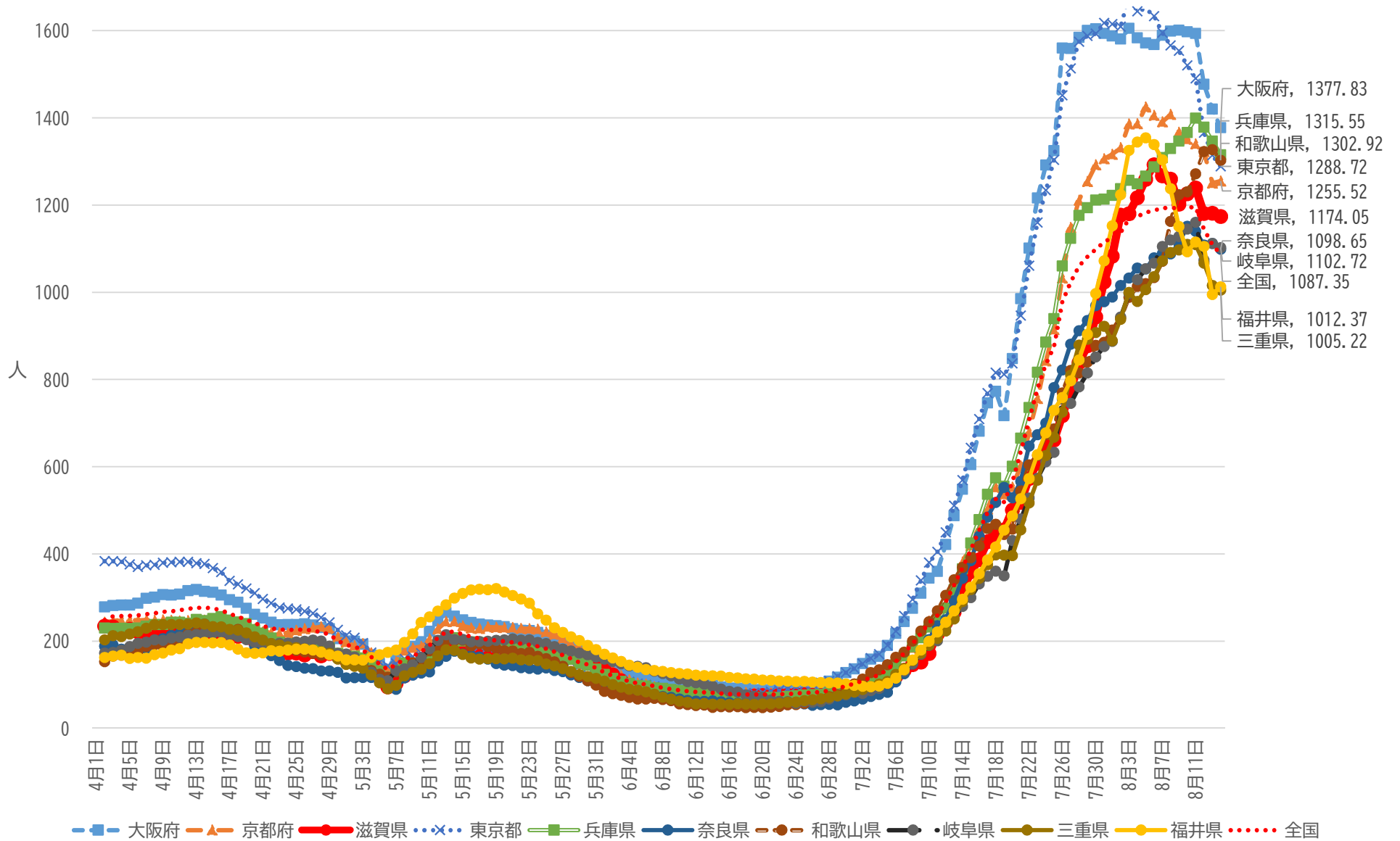
注)無症状者を計上していません。今後8/14以前に発症した患者が届出されることがあります。

4) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 8/14)



5) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 8/14)



2、県内の感染状況と体制について(8/14現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数			空床数		療養者数			清掃・修理 待ち	空数
			県内発生	その他				県内発生	その他		
総数	506	433	422	11	73	631	173	173	0	55	403

2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数							入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中									
			重症	中等症	軽症							
PCR検査数	498,848											
(うち行政検査分	217,557)	162,561	25,628	422	3	77	342	25,033	173	136,677	256	
(うちその他検査分	281,291)	(PCR検査判明分	94,001)					(うち自宅待機	634)			
抗原検査数	317,146	(抗原検査判明分	68,560)					(うち自宅療養	24399)			

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

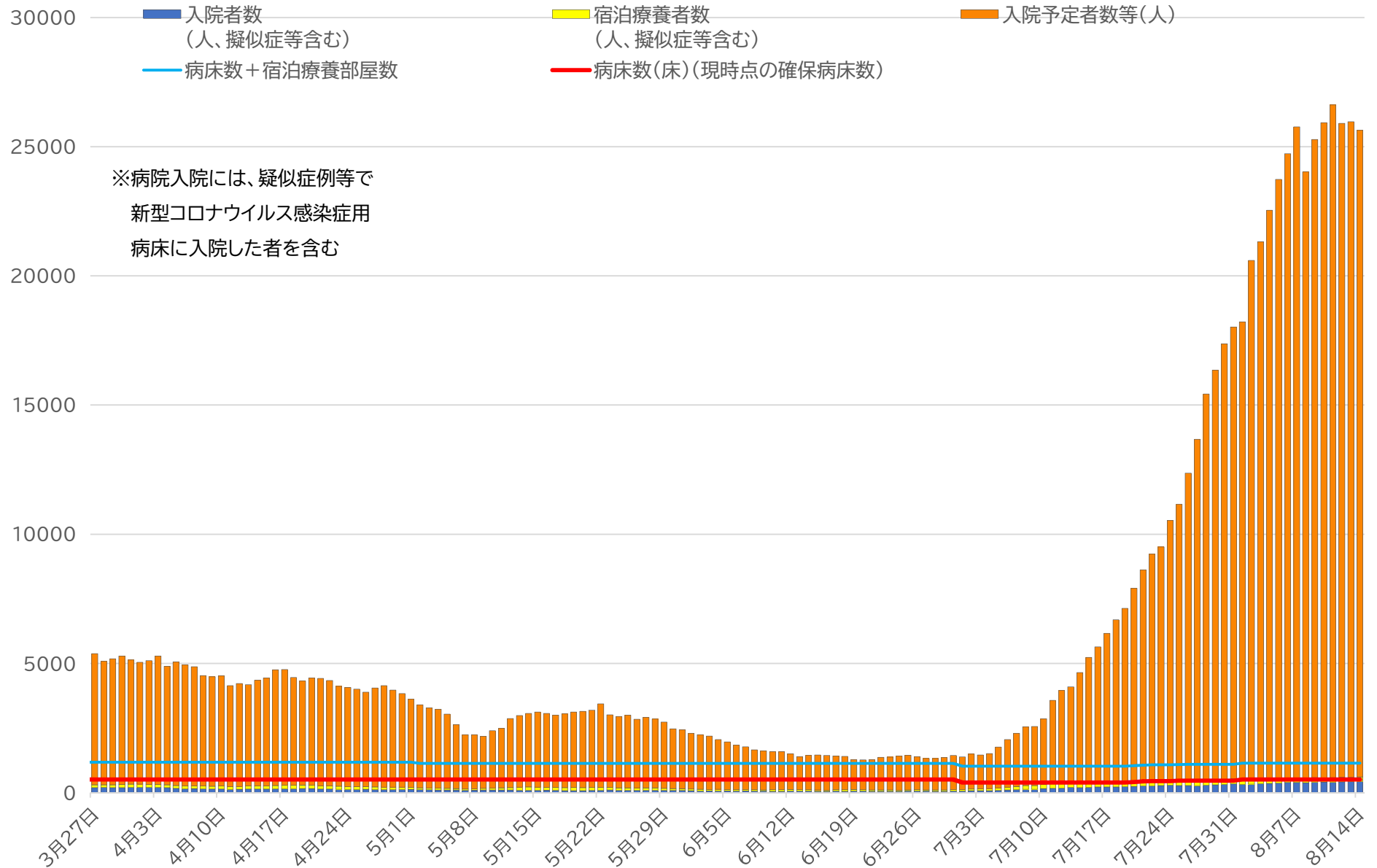
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

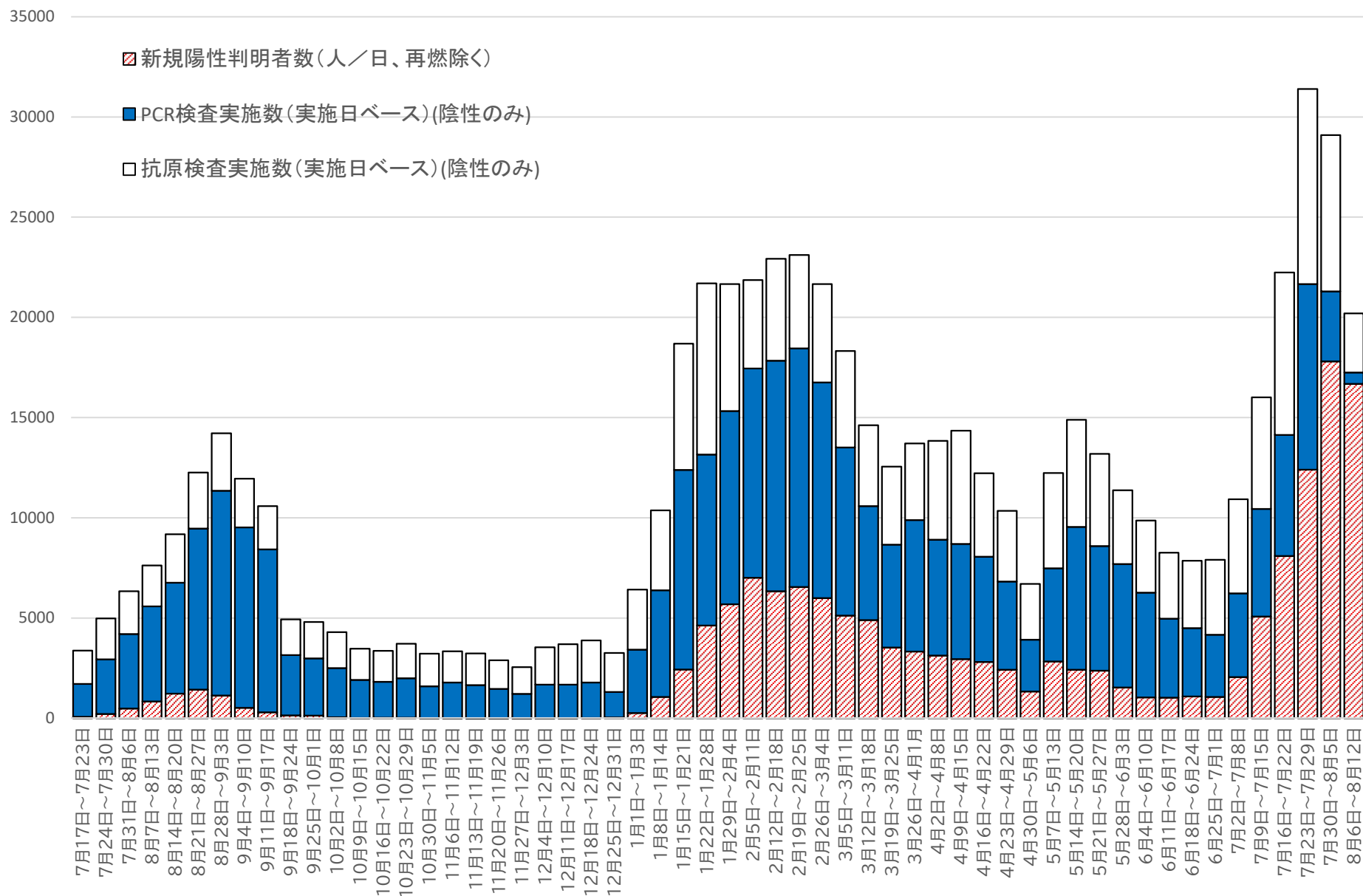
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

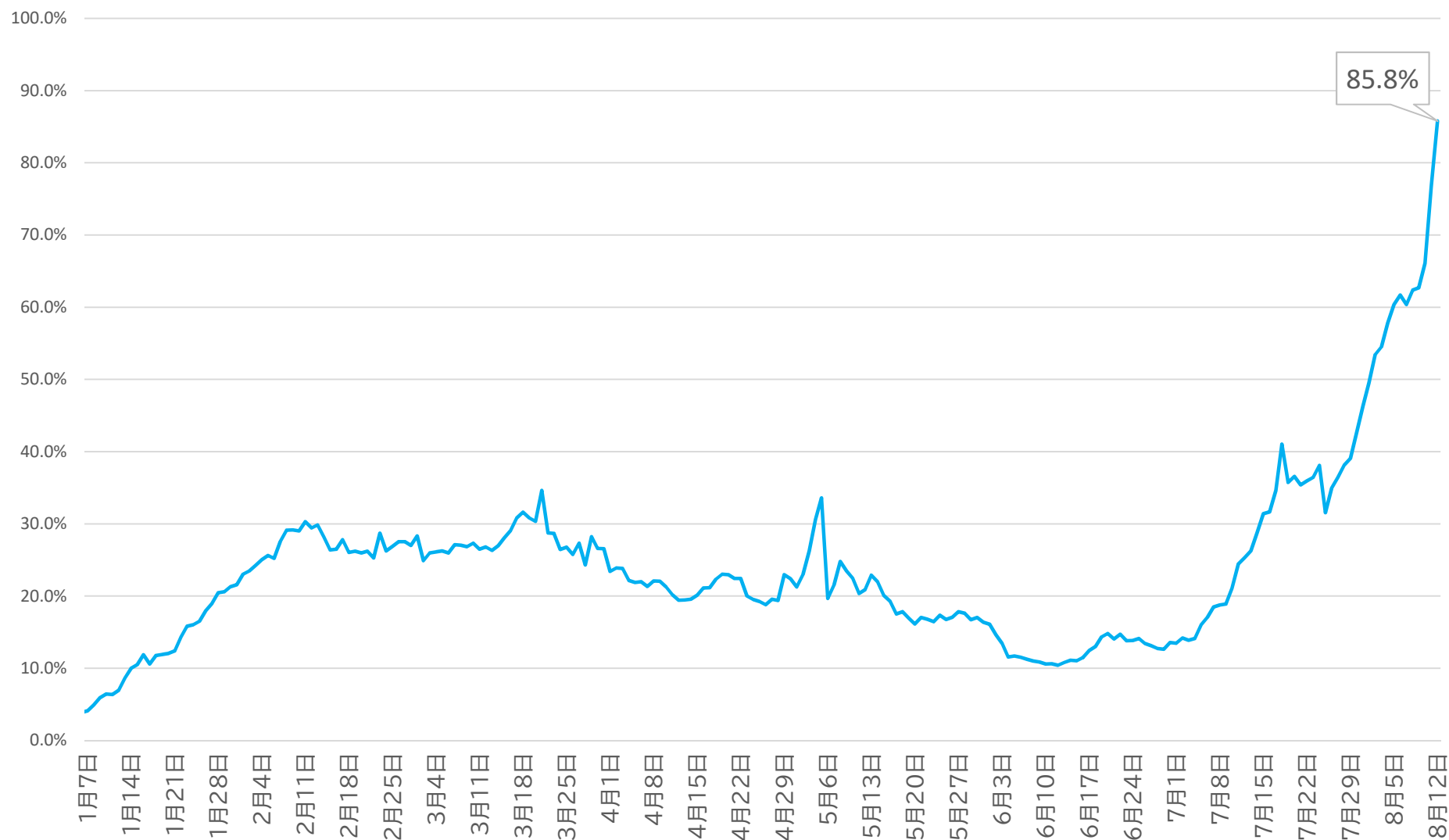
3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)

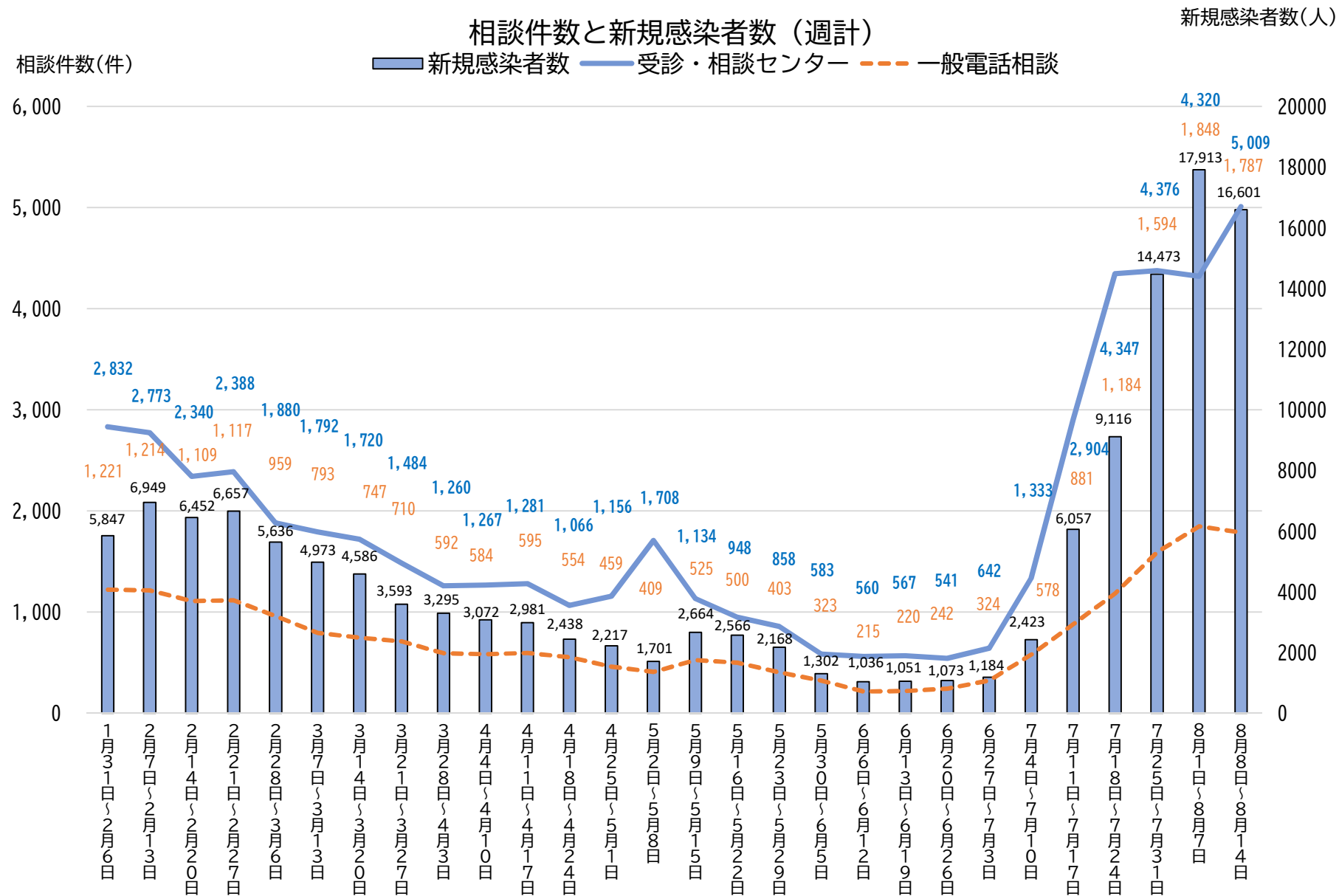


5)陽性率(7日間移動平均)



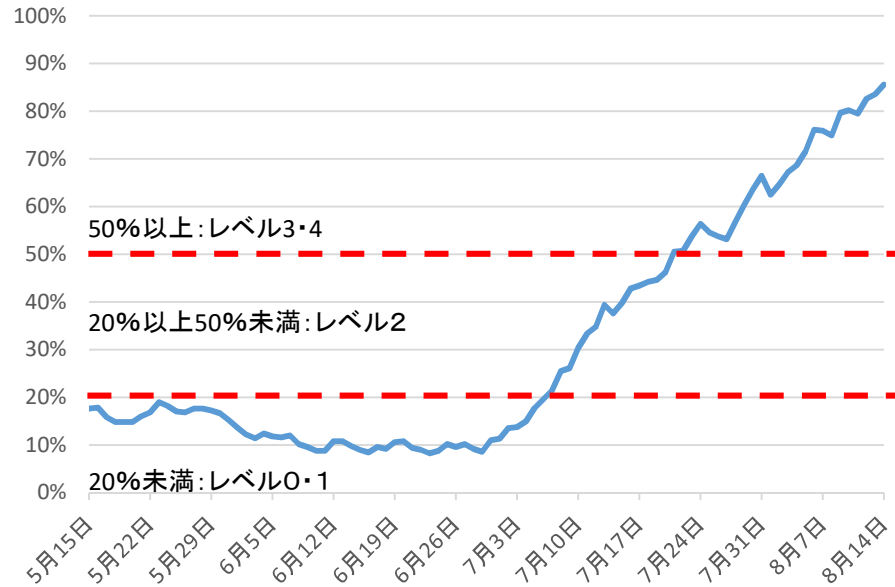
- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、8月12日現在の陽性率は85.8%でした。

6) 相談体制について

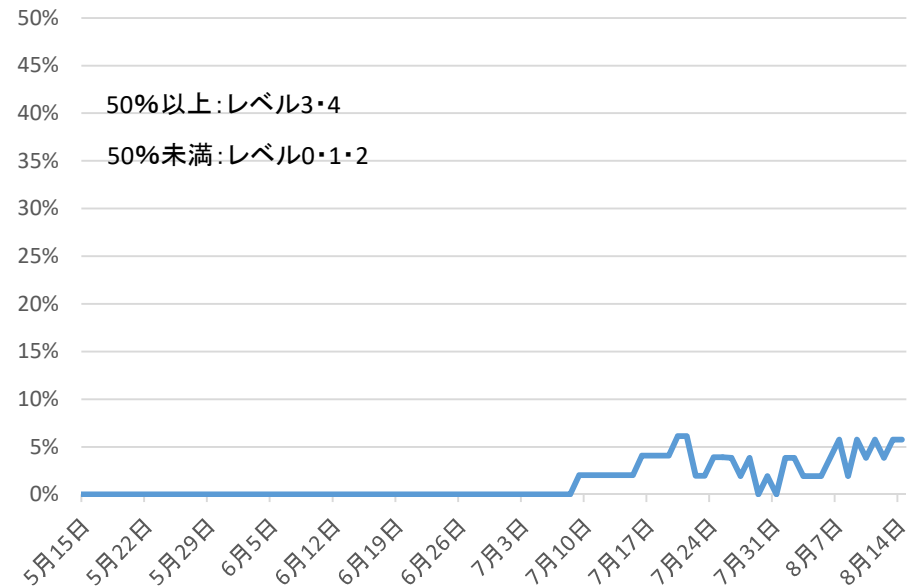


7)その他の県内の感染動向

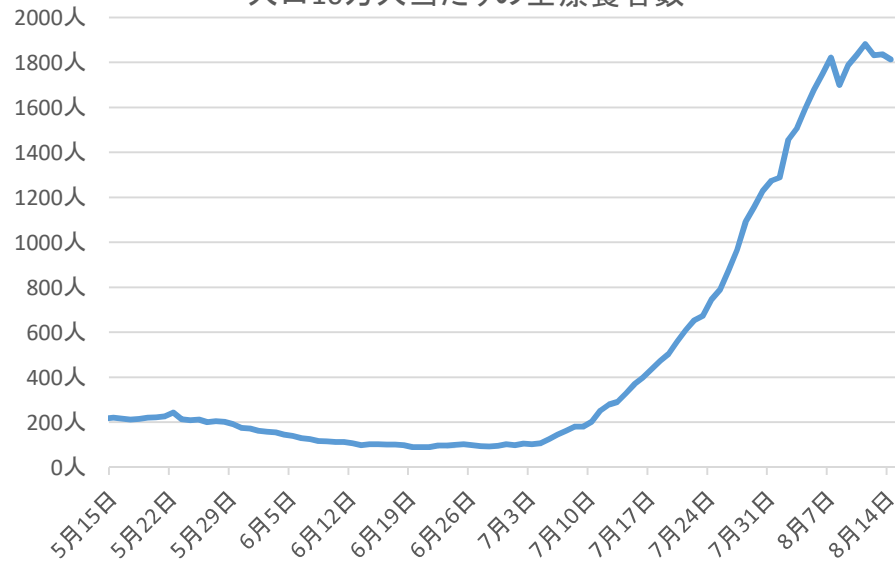
最大確保病床の占有率



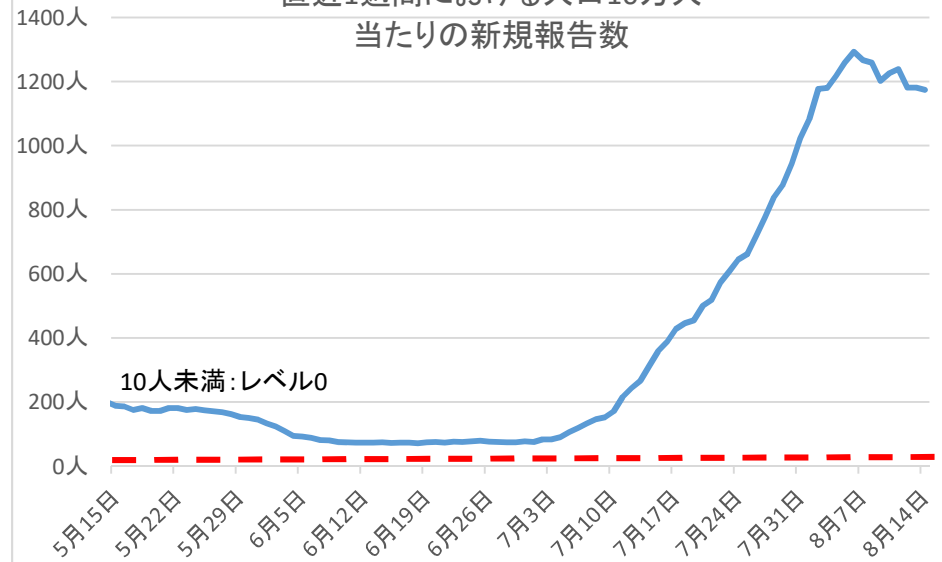
重症者用病床の最大確保病床の占有率



人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



評価(8/8～8/14の感染状況)

- 全国的に新規陽性者数は高止まりしています。実効再生産数が1を下回り、減少傾向に見える地域もありますが、お盆休みの診療体制などの影響もあり、減少しているとは言えない状況です。
- 本県の新規陽性者数は、今週に入り前週の同じ曜日よりも少なくなる日が多くなってきましたが、今週先週比は0.93とほぼ横ばいとなっています。直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数は1160.1人と、今年2月の第6波のピーク時(504.24人)の2倍以上となっています。年代別では、学校が夏休み期間となるためか10歳未満、10歳代は減少傾向にあります。20歳代から50歳代にかけては、高止まりの状況です。60歳代以上は継続して増加傾向が見られています。
- 最大確保病床に対する占有率は8月14日時点で86.4%、自宅療養者等は約2万4千人と入院医療・外来医療への影響が見られています。新規陽性者数の増加とともに、中等症の患者数も増加し、重症患者も継続して見られ、特に高齢者で重症化・死亡リスクが高い傾向にあります。
- お盆休みで、普段会わない方との交流が活発にあったことが想定されます。自分が感染しているかもしれないと考え、マスク着用など基本的な感染対策の実践をお願いします。特に高齢者との関わりがある方は、より慎重に感染対策を実施するようにしてください。
- 医療機関、高齢者施設等でクラスターが多発しており、施設内感染の予防を徹底する必要があります。また、陽性者が施設内で療養する場合であっても治療を提供できるように、嘱託医や協力医療機関と事前に調整しておくことが必要です。
- 気温が高く、冷房のため窓を閉め切っていることが想定されます。密閉空間では感染リスクが増加します。一般的なエアコンでは換気できないため、冷房中も常時換気が必要です。
- ワクチン接種についても、効果は徐々に減弱します。3回目・4回目の追加接種の対象者は計画的な接種が必要です。50歳未満の若い年代の一層のワクチン接種を進めることも重要です。